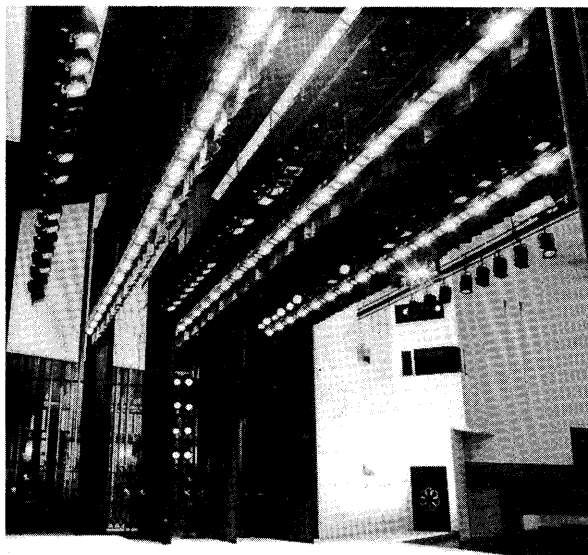


1. 喜多方プラザ文化センター

公共ホール・劇場の舞台・音響・照明など「うらかた」に特化したボランティアとして全国的にも早い時期に導入され、1983年以來10年以上の活動歴がある。「日本舞台研究者連絡会」事務局。「うらかた」以外にも市民による複数の企画・鑑賞団体が組織されている。

施設・運営の概要

運営母体	喜多方地方広域市町村圏組合
所在地	福島県喜多方市字押切川向 5364-1
TEL	0241-24-4611
FAX	0241-24-4611
開館年月	1983年11月
複合形態	複合施設
施設特性	音楽ホール
座席数	大ホール1176席、小ホール400席
自主事業予算	年間2,500万～3,600万円
自主事業数	年間20本（平成6年度）
立地都市人口	37,227人
組織体制	8名（プラザ運営専任スタッフ4名、兼務者4名の計8名が通常の運営スタッフ。中央公民館を併設しており、自主事業等の大きな催しは公民館専任職員を含む14名で対応する。）



ボランティア制度の概要

名称	・舞台研究会「うらかた」
導入時期	・1983年7月
登録人数	・約40名（うち女性5名。年齢層は30～40代、三分の一は設立当初からのメンバー）
導入の経緯	・もともとは、裏方の技術スタッフがいなかったことがきっかけ。舞台芸術に関する技術の研修を行い、技術協力を積極的に行って、喜多方地方広域市町村圏内における文化活動発展に寄与することを目的に設立された。
活動内容	・舞台・音響・照明等
募集方法	・公募、口コミ
研修	・喜多方プラザの技術職員による研修、他ホール等への研修旅行など
実費支給	・あり。半日、昼間、全日 各5,000円、7,000円、10,000円。報酬の5%は舞台研究会「うらかた」の事務局に戻入。
その他	・「うらかた」が実際にオペレーションを行うのは地元の出演者による催しがほとんど。プロの公演の時には通常主催者側でオペレーターを連れてくる。 ・年間の公演回数は50～60回。各回ごとに仕込み、リハーサル、本番や打ち合わせがある。